

3章

いざ外傷診療の 最前線へ

外傷患者の命を救うために、画像診断やIVRによるRadiologyのチカラが求められています。我々が現場の診療にどのように関わっていけばよいか、そして多職種でどのように連携し一刻も早い止血に取り組んでいくべきか、患者来院前・初期診療に始まり、CT撮影と同時進行で行うコンソール読影、そしてIVR開始に向けた移動や準備までの3つの段階に分けて解説します。我々が活躍すべきフィールドがそこにあります。